

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

川の手通りー2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環七通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」と歩いてきました。

今回は「川の手通り」を歩いています。山手通りは知っていましたが、川の手通りは知りませんでした。川の手通りは荒川区南千住の明治通りの白鬚橋西詰交差点を起点に、足立区谷中の環七通りの綾瀬警察署前交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は川の手通りの道路名標識（都道314号線）です。

前回は起点から千住汐入大橋まで歩きました。

今回は千住汐入大橋から終点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[千住汐入大橋] 荒川区南千住八丁目

最寄駅 京成本線 京成関屋駅

千住汐入大橋は隅田川にかかる荒川区と足立区の区境の橋です。



写真左は橋を渡り、足立区側から見た隅田川対岸の荒川区側の景色です。高層マンションの前は桜並木が続いています。桜の時期に見にきたい場所です。

[千住曙町交差点] 足立区千住曙町

最寄駅 京成本線 京成関屋駅

千住曙町交差点（写真下右）で墨堤通り（都道 461 号線）と交差します。左へ行くと千住・西新井方面、右へ行くと白鬚橋・明治通り方面です。川の手通り（都道 314 号線）は直進で堀切方面へ進みます。



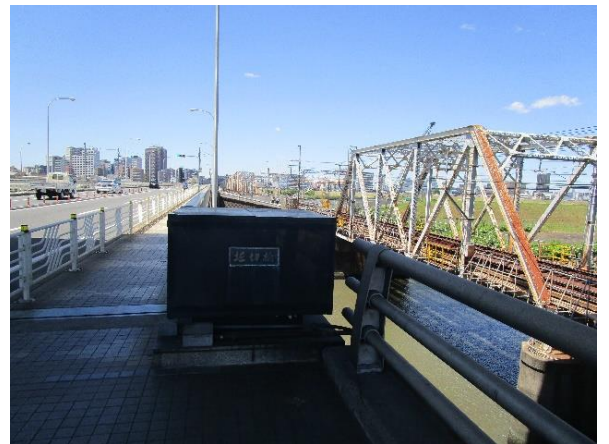
[堀切橋] 足立区千住曙町

最寄駅 東京スカイツリーライン 堀切駅

荒川と綾瀬川にかかる堀切橋（写真下）を渡ります。横の線路は京成本線です。左側の先には小菅東京拘置所の建物が見えました。荒川が足立区と葛飾区の区境になります。



写真下は荒川・綾瀬川を渡り、綾瀬川の葛飾区側から撮影しました。



[堀切五丁目交差点] 葛飾区堀切五丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン 堀切菖蒲園駅



川の手通り（都道 314 号線）は堀切五丁目交差点（写真上右）で左折します。直進すると水戸街道方面、右へ行くと堀切菖蒲園・綾瀬川方面です。

[小菅三丁目交差点] 葛飾区小菅三丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 綾瀬駅

小菅三丁目交差点（写真下右）で平和橋通り（都道 308 号線）と交差します。左へ行くと千住新橋方面、右へ行くと西亀有方面です。



[綾瀬駅付近] 足立区綾瀬三丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 綾瀬駅

川の手通りの上は常磐線、地下は東京メトロ千代田線が通っています。



[武道館東口交差点] 足立区綾瀬三丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 綾瀬駅

武道館東口交差点（写真下右）で江北橋通り（都道 467 号線）と交差します。左へ行くと都立東京武道館・千住新橋方面、右へ行くと亀有方面です。川の手通りは直進します。都立東京武道館は都立東綾瀬公園内の草野球場の敷地に 1990 年に竣工した足立区のスポーツイベント施設です。



[しょうぶ沼公園] 足立区谷中二丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 北綾瀬駅

右側にしょうぶ沼公園がありました。各種のしょうぶの表示がされていて、訪問時は咲き始めでした。





[綾瀬警察署前交差点] 足立区谷中四丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 北綾瀬駅

環七通り（都道 318 号線）綾瀬警察署前交差点（写真下右）が川の手通りの終点です。左へ行くと梅島方面、右へ行くと亀有方面です。



これにて川の手通りを起点から終点まで歩きました。初めて歩いた隅田川、荒川、綾瀬川沿いの道でした。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ

「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年10月19日丸子（まりこ）宿（現在の静岡県静岡市駿河区）（江戸日本橋から180km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「丸子 名物茶屋」です。看板には「名物 とうろ汁」とあります。とうろ汁は自然薯をすりおろした食べ物です。二人の旅人が味わっている様子が描かれています。左は自然薯を売りに来た農民の後ろ姿で腰の巾着は売ったお金で重そうなのがにくい描写です。

丸子的名物はとうろ汁（写真下左）と十（とお）団子（写真下右）です。



松尾芭蕉も「梅若菜 まりこの宿の とろろ汁」の句を詠んでいます。
東海道中膝栗毛では夫婦げんかに巻き込まれて、とろろ汁を食べそなった弥次さん・喜多さんが登場しています。十団子の名は旅人を食べる鬼を通りかかった旅僧がこの鬼を小さな玉に変身させ、それを杖でくだいて十粒の小玉にして、飲み込んで鬼退治して峠の道が安全になったという伝説に由来しています。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。
今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。
また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝